

令和元年度 第1回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和元年6月20日 開催

豊橋市教育委員会

第1回 総合教育会議	
日 時	令和元年6月20日(木) 午後3時00分～5時00分
場 所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	佐原 光一 市長、 山西 正泰 教育長 高橋 豊彦 教育委員、 渡辺 嘉郎 教育委員、 内浦 有美 教育委員、 中島 美奈子 教育委員
事務局	大林 利光 教育部長 駒木 正清 教育監 角野 洋子 教育政策課長 木下 智弘 学校教育課長 浅倉 淳志 教育政策課主幹 黒釜 直樹 財務部長 ほか 4名 全10名
その他	傍聴人 0名

議 事 日 程

市長あいさつ

協議事項

- ・教職員の働き方改革について
- ・学校プールの今後のあり方について

その他

今後の協議事項について

連絡事項 …次回開催日程 ・令和元年9月19日(木) 14:00～

(市長)

ただいまから令和元年度第1回豊橋市総合教育会議を開催させていただきます。

本日の協議事項は、「教職員の働き方改革について」、「学校プールの今後のあり方について」ということでございます。

それでは、「教職員の働き方改革について」事務局から説明をお願いします。

協議事項

教職員の働き方改革について

■学校教育課長 協議事項について資料説明

(高橋委員)

メッセージ付き電話の応答時間について、夏と冬とで時間を分けた理由はありますか。

(学校教育課長)

日没時刻の違いです。

(高橋委員)

感覚的にはわかる話なのですが、本来の勤務時間が同じなので分ける意味があるのでしょうか。

(市長)

日没時刻とした理由があると聞きましたが。

(学校教育課長)

日没時刻により部活動の時間が変わります。部活動後に電話対応できるようにしておりますので、そこで1時間ほどの違いが出てきます。

(高橋委員)

年間で一律の時間にできるといいと思います。

習慣的に日没時刻を基準にするのではなく、教員の働き方や健康管理等に配慮して時間を設定できるといいですね。

(市長)

教員現場から夏も18時半にしてもらえたらいい等の意見はありますか。

(学校教育課長)

今のところありません。授業後や部活終了後の問い合わせへの心配があるようです。

(市長)

スマホ等を用いた連絡体制があるようですが、そういった問い合わせ用に先生の携帯番号を教えるようなことはしてはいないですか。

(学校教育課長)

していません。

(市長)

個人情報ですし、やはり微妙でしょうね。

(渡辺委員)

メッセージ付き電話について、この時間設定では19時半までは学校に先生がいなければならぬということなのですか。そういった暗黙の了解があるわけですか。

(市長)

当番制などあるのですか。

(学校教育課長)

ありません。

(高橋委員)

現状、多くの先生が残ってらっしゃいますよね。

(渡辺委員)

この設定は、設定時間までは在校していなさいということを指してしまうのではないですか。働き方改革の観点で見れば、定時が19時半であるという風に定着してしまうのではないかと心配です。

(市長)

現状はどうなっているのですか。

(学校教育課長)

似た話なのですが、学校のパソコンを時間設定で切れるようにするという提案が過去にあったのですが、その時間までは働いていいと誤解される恐れがあったことからその話は進んでいません。同様に考えますと渡辺委員のご指摘のとおりとなる可能性はありますが、子どもたちが帰ってから残った仕事をある程度しなければならぬというのが現状です。

(市長)

応答メッセージ導入の成果の話に戻りますが、残業 80 時間超の割合が減っているのはわかりましたが、教員全体の平均残業時間は減っているのですか。

(学校教育課長)

仕事を分担することで残業時間の平準化を図っており、80 時間超えを減らす取り組みは進んでおりますが、全体の残業時間が減っているわけではありません。

(市長)

80 時間超えを減らすことが最終的な目標ではありませんので、全体の残業時間を減らす取り組みを考えていただきたいです。

(渡辺委員)

冬季は 18 時半でも特にクレームはないのですか。

(学校教育課長)

はい。

(渡辺委員)

では夏季も 18 時半でいいのではないかと思います。

(高橋委員)

私は、この問題の根幹にある原因は、「漠然とした心配」という実態のないものと戦っている人が多くいるからだと考えます。そういった中では、誰かが「必要ないじゃないか。」と大きな声で言うと、意外に「そうですね。」と終わる可能性があります。

(渡辺委員)

応答メッセージの成果のひとつに「放課後の職員室に笑顔が増えた」とありますが、設定時間を 19 時半から 18 時半に早めることで、その笑顔が 1 時間分増えるということになります。これはメンタル面で非常に重要なことだと思います。

(市長)

電話対応クレーム件数は減ったということですが、クレーム自体はどこに行ってしまったのでしょうか。必要性のないものだったということでしょうか。

(教育長)

そうかもしれません。クレームは勢いに任せたものが多いです。19 時頃に酒の勢いでクレームの電話を入れるといった事例も多いので、そういったものに対して受付時間短縮の効果は大きいですね。

(市長)

本当に必要な問い合わせを受け付けることができるかという観点で時間設定すべきですね。

(教育長)

本来は、部活動終了後の問い合わせ対応のために設定した時間ですが、みなさんのご意見どおり、必要性のない習慣的なものであれば見直すべきですね。

(中島委員)

先生の生活習慣が切り替わるのなら、夏季の設定時刻は18時半で良いと思いますね。ちなみに緊急の場合のダイヤルはあるのでしょうか。

(教育長)

あります。市役所の防災センターに入った連絡が各学校に転送される仕組みです。

(渡辺委員)

話は変わりますが、ストレスチェックはされているかと思いますが、残業時間の減少に伴い結果に変化はありますか。

(学校教育課長)

変化はありません。

(教育長)

まず職場の人間関係によるものが大きいようですね。そこから周りの支援が得られないことによる多忙感がストレスにつながるようです。

(高橋委員)

教員の多忙感が教員を志望する人を減らしている気がしますね。よりよい人材の確保につながるという観点でも多忙化解消に取り組むべきだと考えます。

(市長)

最近の教員志望数は減っているのですか。

(教育長)

減っています。

(高橋委員)

教育学部卒の教員数が減っているという話を聞いたことがありますね。

(渡辺委員)

圧倒的に学校に人材が足りていないと感じます。財源状況が厳しいことは承知していますが、将来的な教育の重要性を再認識し、今こそ人的支援に力を入れるべきだと考えます。

(市長)

新しい教員採用の仕組みはできないものでしょうか。例えば英語に特化した先生を採用するような仕組みとか。

(渡辺委員)

特色ある先生が増えたら豊橋はもっと面白くなると思いますね。

(高橋委員)

既存の先生の価値観も変わっていいと思います。

(中島委員)

先日、民間プール活用のモデル事業を拝見させていただきましたが、外部の専門性のある方が関わることで学校の先生の質の向上も図られているということですし、子どもたちの教育が充実していると実感しました。

(渡辺委員)

先生以外の職員を増やすということは重要かもしれません。教員の多忙化に対しても、様々な側面でサポート可能な専門家の参画が必要になってくると思います。

(教育長)

おっしゃるとおりですね。支援員の増員等によるサポート体制の充実が多忙化解消のためには必要です。

協議事項

学校プールの今後のあり方について

■教育政策課長 協議事項について資料説明

(高橋委員)

アンケート結果を見ると、専門家の指導が受けられるのは子どもたちにとって良いという意見があります。本来、体育を教えなければならないのは教員ですから、その点は気になります。学校、保護者、子どもの皆が評価しているということですので、あとの問題は予算と安全性の仕組みをどう作るかということだと思います。保護者の観点から言わせてもらおうと、安全面に関してはインストラクターがいると非常に安心します。

(市長)

昔の話ですが、泳げない先生は他の先生に指導を任せていたのでマンモス校では2クラス合同の授業に対し1人で見なければならなかったということがありました。危ない場面もあったかもしれません。

(渡辺委員)

私の記憶では、プールの授業は水浴び程度のものでした。

(高橋委員)

時代と先生のやり方で、かなり差が出る教科の1つだと思います。最も平準化されていないカリキュラムの1つだと思います。

(渡辺委員)

その点も含め、インストラクターに習うことは重要だと思いますね。

(教育長)

教員が体育をきちんと教えられるかという点ですが、教員自身が選択教科で取っていない場合等では難しいのが現状です。

(中島委員)

一方で安全面の体制については、送迎の見守りも含めて、保護者もしくは地域の方に協力を求めることも重要だと思います。

(市長)

授業については、年間4時間で行うということですが、それで十分に泳げるようになりますか。

(教育政策課長)

時間は減りますが、質の向上が見込まれますし、本当に泳げない子に対しては、海老名市の事例のように利用チケット等を配付するといった方法も良いと考えております。

(市長)

事業の方向性はこれで良いかと思しますので、周辺で予測される問題等に対処できるように全体のスケジュール感を持って動いてください。

今後の協議事項について

■教育政策課長 資料説明

(内浦委員)

全体を通しての感想になるのですが、近年の豊橋は、子どもや保護者の方の期待が高まるような教育施策が行われていると感じています。それと共に教職員の方も無理なく楽しく働ける環境づくりができるといいですね。

(渡辺委員)

教員が楽しく教えられるということが大切です。先進的なものを効率的に取り入れてほしいですね。

これからの時代は、スマホ等の機器なしでは暮らしていけない方向に進んでいきます。例えば、教科書のデジタル化が進み、紙の教科書を使わなくなった時にはランドセルが不要になります。その代わりに子どもにはタブレットを買い与えるようになる時代が来るかもしれません。貧困対策等の課題はあるでしょうが、時代を先取りした取り組みができるといいですね。

連絡事項

- ・ 次回開催日程

令和元年9月19日(木)